



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月2日

上場会社名 高千穂交易株式会社
 コード番号 2676 URL <http://www.takachiho-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸田 秀雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 植松 昌澄
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3355-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,320	7.5	16		1		36	
29年3月期第1四半期	4,020	21.8	117		75		128	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 32百万円 (%) 29年3月期第1四半期 388百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	3.89	
29年3月期第1四半期	13.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	17,931	13,760	76.7	1,472.68
29年3月期	18,561	13,834	74.5	1,480.61

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 13,751百万円 29年3月期 13,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		12.00		12.00	24.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,560	8.9	220	73.3	220	12.2	110	42.6	11.78
通期	21,000	10.3	1,000	99.8	1,000	42.8	650	132.4	69.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	10,171,800 株	29年3月期	10,171,800 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	833,957 株	29年3月期	833,957 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	9,337,843 株	29年3月期1Q	9,536,443 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資は非製造業を中心に緩やかな回復基調にあり、個人消費につきましても、雇用・所得環境の着実な改善を背景に緩やかに持ち直しております。

先行きについては、雇用・所得環境改善の傾向が続くなかで、各種経済対策の効果などにより、緩やかに回復していくことが期待されているものの、英国のEU離脱問題や、米国の金融政策正常化の影響など、海外情勢について留意する必要があります。

当社グループの市場環境は引き続き競争激化の状況にありますが、新たな成長を見据え独自の付加価値強化による収益性の向上及びアジアを中心とした成長市場への進出によりグローバルビジネスの拡大を図っております。

具体的には、システムセグメントでは、主要商品である商品監視システムや入退室管理システムの付加価値強化、RFIDシステム、リテールソリューション、クラウド型無線LAN等の新たな市場開拓、またタイ及びASEAN諸国において展開する高度防火システム事業の拡大を図っております。

他方、デバイスセグメントでは、電子事業においては主に通信インフラ分野での拡販や各種半導体を使用した独自の基盤設計などの付加価値強化、また産機事業では従来のATM向け機構部品に加え、北米、ASEAN諸国、中国への住宅設備向け機構部品の販売、今後急拡大が見込める宅配ロッカー市場への電子錠拡販などに注力しております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、デバイスセグメントが苦戦した一方で、システムセグメントが堅調に推移したことなどから、売上高は前年同期比7.5%増の43億20百万円となりました。

損益につきましては、売上高の増加による売上総利益の増加やのれん償却額が減少したことなどにより、営業利益は前年同期と比較して1億円増加し、16百万円の損失となりました。経常利益は前年同期と比較して76百万円増加し、1百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と比較して91百万円増加し、36百万円の損失となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(システムセグメント)

システムセグメントの売上高は、前年同期比19.4%増の26億69百万円、営業利益は、前年同期と比べ1億45百万円増加し、21百万円となりました。

セキュリティ商品類では、大手携帯キャリア向けディスプレイセキュリティシステム及び監視カメラの販売が堅調に推移したことやタイにおける防火システムの販売が前年同期に比べ伸張したことなどから、売上高は前年同期比12.9%増の16億92百万円となりました。

その他ソリューション商品類は、メーリング機器の新機種への入れ替え需要に伴う販売増やRFIDタグの販売が堅調に推移したことなどから、売上高は前年同期比127.7%増の3億36百万円となりました。

カスタム・サービス商品類は、セキュリティ商品類及びその他ソリューション商品類の販売増に伴い設置料収入や保守収入が増加したことなどから、売上高は前年同期比8.8%増の6億40百万円となりました。

(デバイスセグメント)

デバイスセグメントの売上高は、前年同期比7.5%減の16億51百万円、営業利益は前年同期と比べ49百万円減少し38百万円の損失となりました。

電子商品類では、産業機器や遊技市場、スマートフォン、デジカメ向けの販売が苦戦したことなどにより、売上高は前年同期比9.6%減の6億71百万円となりました。

産機商品類では、ATMや住宅設備向けの販売が苦戦したことなどから、売上高は前年同期比6.0%減の9億79百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ6億29百万円減少し、179億31百万円となりました。これは現金及び預金が6億35百万円、商品及び製品が2億1百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が9億円、有価証券が5億円減少したことなどによるものです。

他方、負債は、前連結会計年度末と比べ5億56百万円減少し、41億70百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が3億16百万円、未払法人税等が1億40百万円、賞与引当金が99百万円減少したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ73百万円減少し、137億60百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失36百万円や配当金の支払などにより利益剰余金が1億42百万円減少したことなどによるものです。自己資本比率は前連結会計年度末から2.2ポイント上昇し、76.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年5月10日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,163	6,799
受取手形及び売掛金	5,989	5,088
有価証券	500	—
商品及び製品	2,330	2,531
原材料	80	63
その他	642	612
貸倒引当金	△7	△28
流動資産合計	15,699	15,068
固定資産		
有形固定資産	304	308
無形固定資産		
のれん	1,058	1,021
その他	88	80
無形固定資産合計	1,147	1,102
投資その他の資産		
投資有価証券	835	924
その他	574	528
貸倒引当金	△0	△1
投資その他の資産合計	1,409	1,451
固定資産合計	2,861	2,862
資産合計	18,561	17,931

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,749	2,433
未払法人税等	193	52
賞与引当金	245	145
役員賞与引当金	11	6
その他	834	834
流動負債合計	4,034	3,471
固定負債		
退職給付に係る負債	631	638
その他	60	60
固定負債合計	691	699
負債合計	4,726	4,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,209	1,209
資本剰余金	1,170	1,170
利益剰余金	12,237	12,095
自己株式	△783	△783
株主資本合計	13,833	13,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	219	281
為替換算調整勘定	△210	△204
退職給付に係る調整累計額	△16	△15
その他の包括利益累計額合計	△7	60
新株予約権	8	9
非支配株主持分	0	0
純資産合計	13,834	13,760
負債純資産合計	18,561	17,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,020	4,320
売上原価	3,008	3,242
売上総利益	1,012	1,078
販売費及び一般管理費	1,129	1,094
営業損失(△)	△117	△16
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	7
為替差益	30	1
持分法による投資利益	—	0
償却債権取立益	—	5
その他	5	3
営業外収益合計	43	18
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	1	0
経常利益又は経常損失(△)	△75	1
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
新株予約権戻入益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
投資有価証券評価損	50	—
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	50	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△126	0
法人税、住民税及び事業税	12	7
法人税等調整額	△10	28
法人税等合計	2	36
四半期純損失(△)	△128	△36
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△128	△36

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△128	△36
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	62
為替換算調整勘定	△258	5
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	△260	68
四半期包括利益	△388	32
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△388	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

- I 前第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,235	1,785	4,020	—	4,020
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,235	1,785	4,020	—	4,020
セグメント利益又は損失(△)	△124	11	△113	△3	△117

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△3百万円は、連結調整額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,669	1,651	4,320	—	4,320
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,669	1,651	4,320	—	4,320
セグメント利益又は損失(△)	21	△38	△17	0	△16

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、連結調整額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 補足情報

販売実績

(単位：百万円)

区分	前四半期 (平成29年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成30年3月期 第1四半期)
セキュリティ商品類	1,498	1,692
その他ソリューション商品類	147	336
カスタマ・サービス商品類	588	640
システム 計	2,235	2,669
電子商品類	743	671
産機商品類	1,042	979
デバイス 計	1,785	1,651
計	4,020	4,320